

通信	同	同	同
支	部	同	同
No. 34 10月号 10月8日編集発行			
東京都宅地建物 取引業協会 府中支部 編集兼発行人 高野豊次			

十月定例理事会開催

とき 十月七日午後四時より
ところ ダイワ不動産
出席者 平井、五島、高野、楨崎、辻、山村、
内山、加藤、成澤、鈴木、

一、要領次の通り

- イ、本部理事会について
九月十九日日本部に於て理事会開催につき当支部よりは山村理事長、辻理事が出席した。当日は重要事項はなく、不動産祭りその他につき報告があつた程度
- ロ、不動産祭りについて
(A)、十月十四日厚生年金会館に於て行ひ。

不動産祭りには当支部よりは、山村支部長、加藤監査、平井理事が出席、諸用務に従事の子定(B)、不動産祭の一環として行ひ街頭相談所は当三多摩地区は十月十一日、立川と田無の二ヶ所に於て開設予定で当支部よりも相当人員が応援を要すべきものなるところあいに、当日は当支部の箱根旅行につきこれが応援を断つた。

イ、三多摩協議会について
十月三日三多摩協議会が開催せられ、東村山開発公社外数件に関し協議あつた旨山村支部長より報告あり一同これを了承した。

次期理事長(支部長)問題について

高野生

このことに付ては前号で私見を発表しその後数名の者より色々忌憚のない意見を聞いてみたが実際問題として理事長候補を一、二の者に絞つた場合諸種の事情からこれという候補者を見出すことは洵に困難である。勿論人間である以上長所もあり短所もある。それゆゑに業歴とか資力を条件として加味する場合尙更これを見出すことの出来ないのは当然かもしれない。然し乍らそうかといつてこれを放つて置くわけにも

ゆかず、誰かにお願ひしなければならぬので、可及的理想到近い人を選出するよりほかに道がないことになる。

そこでこれが選出方法として考えられることは、おそくも明年二月頃までに、先づ新しい理事(明年四月より理事に就任する者)を各地域毎(東部、中部、西部及び稲城)に選出する。そしてこれが決定をまつて新しい理事のうちから理事長としての適格者を選ぶことにしたら最も合理的であり最良の選出方法だと考えられる。

若しそれ他に選出の良策がないとせばこうした内容により手続きをとることも一策だと思ふがどうであらうか、大方諸君のご意見を伺ふことにしたい。

敢えて一言

高野生

「きしもなかずばりたればしまい、父は長良の人柱」と昔からの諺がある通り同舟の発行を自ら云い出した私はその責任上如何なる批評悪口があつたとしても今日まで編集を続けて来た。然し乍ら私も明年三月を以て理事の任期が切れるので再任は勿論同舟の編集も辞退したいと考へている。

勿論五十名に近い組合員の中にはこれぼつちの編集をやれない人はないと考へるし人が変ればもつともつと立派なものが出来ると思ふので適任者を見出してバトンを渡したいと考へている。

唯従来の経過を見るに同舟を批難せんが為の悪口であつたり、甚しきは自分のことが記事に書かれなことをうらんで同舟を廃止せよと盲言を吐く徒輩がいるのは洵に遺憾千万である。

尤も組合員をつんぼさじきに置いて平然と組合費のみを取つておつた時代のことを考へると仮令同舟そのものの内容が如何にチャチなものであつても組合員各位にとつてはいくらかのプラスになつてきたことは否定出来ない事実であつて同舟廃止なんぞ夢にも考へてはならない。

今後バトンを受けついで編集に当る者は洵に御苦労様でその上色々批難を受けるかもしれないがそれはミミズのたわごとと思つて勇気を出して組合の為編集に當つてほしい。

蔭乍ら応援することを約して敢えて一言を呈する。

人と店

京王線分倍河原駅前有限会社成吉不動産がある。代表取締役は成澤辰雄君で、山形県の子、本年三十八才である。

氏はもと警視庁に在職しておつたが、病の爲退職し、後この業界に打つて出た。取引主任者の合格は昭和三十四年で、合格と同時に分倍河原で開業したので、いふならば同地での不動産業者の草分けである。

尤も開業当時は業界として最もそがしい時であり、以後好景気連続の爲、随分儲けたときが根が江戸つ子気質で淡泊、実に竹を割つた様な性格である。

それかあらぬか最近税務署より三百万円を超える税をふつかけられても平気でこれを納めるあたり洵に度胸のよさがある。

他方警視庁に在職した恩典とでもいふか開業時より、同庁共済会の住宅地を一手に斡旋しつつあり、今も尚同庁の御用商人的存在でその収入も大いに会社の経営にプラスしている。

趣味はハーモニカと釣りで家族は夫人のほか長男一人の小人数である。

今後の発展を更らに期待するとともに自重自愛を望んで止まない。

景気の動向

T 生

ついで、二年前までは設備投資の過剰だ、ひずみは是正など時の内閣は随分いじめられたものであつたが、その後輸出と国内消費の意外な増大でいつとはなく設備投資の過剰などとなえる者はなく、むしろ設備不足も甚しい昨今となつてきた。

こうした情勢は独り政府のわずかな努力であらわれたいものでなく、又、事業主の尽力で出来た結果でもない。自然と世界経済の上向きになつてきたのがその原因である。

目下のところ第一階段である生産部門は受注が盛んで笑がとまらない好景気だというのがこの景気がわれわれ業界にまで浸透して行くのはいつのことか？

もしそれ近々のうちに生産部門に不況が襲つてくる様なことがありと仮定するならばわれわれはこの景気よさにありつけることなく済んでしまふかもしれぬ。

それかあらぬか本年度は下半期に景気がよくなると一般の見方であり、政府もまた年度当初からそうした宣伝であつたのに、九月に至るもわれわれ業界には一向にそうした現象はみられない。

そこで思い出すのは私が本紙一月号で迎春に當つてという一文を起草したことがある。その文中「今年の景気は下半期に必ず上昇する」といふおつけであるが、果して現在の様な施策で末端のわれわれにまで浸透し景気が立直るのはいつか、われわれは禪をしめ降つてくる様な景気を望んではならない」と時の政府の宣伝に疑問符をつけたものであるが、案の定、そういう現実をみるに至つたことは洵に悲しい次第である。

景気の好し悪しというものは単なる政府の宣伝や僅かな施策によつて動くものでなく、遠く世界の彼方より波の如くおしよせてくる大いなるものに支配されることを忘れるなく他面、その波を察知して早急に末端に浸透する様な大いなる施策をすることこそ為政者としての責任である。

泣く子と地頭には勝てない

T 生

昔から泣く子と、地頭には勝てないという。これと同じたぐいで私が隣の支部に免許申請を出し支部長の印をもらおうとしたことがある。簡単に捺印がもらえらるものと思ひのほか、この支部長実にやかましく、申請書の一枚一枚に目を通して、こゝを直せ、あそこを訂正せよと、きびしいこと限りがない。

それが理に叶うことであれば、尤もと納得し訂正加筆もするが、私も事務屋であるので実におかしいと思ふ点を一、二 問答をした。所が、支部長の曰く、自分のいう通りにしなければ印を押さないと見栄をさら

れ、仕方なくいいなりに訂正加筆してようやく捺印して貰つた。一時は余りやかましいことをいわれるのでこのまゝ印を貰わずに退散し様かとも思つたがそこは虫をこらえて、事なきを得たが、元来免許申請に支部長の印を押せといふことは一種の行政指導であつて、印がないといつて都庁はこれを受付けなかつたり、特別の事由がない限り、免許しないわけにはゆかないものである。

消息

こうした石頭の支部長がいる限りこの支部は余り発展を期待することが出来ないであろう。

三愛不動産、川内萬久君は病氣のため立川病院入院、(南病棟) 相当長期療養の予定

編集後記

○二六号台風は大きな爪あとをのこして立去つたが自然の猛威には尻の持つてゆき様がない。

○今度の秋季旅行は参加者が僅かに三十五名程度であるが支部長及び理事諸公の考へとしてはこの旅行が現幹部としての最後の旅行につき今少し多数参加を希望したのに三十五名内外とは残念である。

○東京多摩開発株式会社株式申込は僅かに二十名弱とさく、授権資本四億円につき第一回の払込は一億円を要しこれを二十人で負担すると大した金額となる。結局出来ない相談でこの会社は流れとなる。おもわく違ひをしたのは発起人である。